爽風だより

編集・発行

宇都宮短期大学人間福祉学科・
宇都宮共和大学子ども生活学部
「爽風会」同窓会

2022

第１９号

学長挨拶

須賀英之

卒業生の皆様には、コロナ禍に負けずにお過ごしでご活躍のことと拝察申し上げます。

今年も大勢の新入学生を迎え、四月には恒例の鬼怒川温泉での合宿交流研修を実施し、学生たちは明るく楽しいキャンパスライフを送っております。平和で安全安心な環境のもとで地域社会に真に必要とされる、それぞれの専門職を目指して切磋琢磨しながら一生懸命、勉学や課外活動に励んでおります。

こうして先輩方が築かれた家庭的で温かい校風は、確実に引き継がれており、皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。

おかげさまで今年度、長坂キャンパスは５５周年を迎え、記念の彩音祭を１１月１２日（土）、１３日（日）に開催します。活発な後輩たちの様子を是非ご覧いただき、同窓生・先生方との旧交を温めていただければ幸いです。

教職員一同、「全人教育（人間形成の教育）」の建学の精神のもと、教育研究や社会貢献の活動にさらに努力してまいります。

皆様のますますのご発展とご健勝を心からお祈り申し上げます。

同窓会役員紹介

会長
中川　紘子（人間福祉学科一期生）

副会長
大山　高正（人間福祉学科一期生）
崔見木綿子（人間福祉学科三期生）

書記
寺門　道子（人間福祉学科四期生）
栃村　彩実（人間福祉学科八期生）

会計
石井　泰之（人間福祉学科三期生）
伴　沙織（人間福祉学科三期生）

会計監査
粂川　昌彦（人間福祉学科三期生）

総務
落合　桃子（子ども生活学部三期生）

同窓会役員挨拶

会計監査　粂川　昌彦

コロナ禍の世界となって約２年の月日が経ちました。誰がこんな世界になると予測したでしょうか。日々絶えることないコロナに関するニュース。コロナの感染が身近に迫りつつある恐怖感。

きっと皆さんも目の前まで迫ってきているコロナの猛威や先の見えない未来に不安と恐怖を抱き、夢と希望が持てない。見出せない。見失い掛ける。そんな日々を過ごされているのではないかと思います。

私はどう生きてきたのか。それは・・・自分のことも大切に守る。日々生きていることや日常の生活におけるすべてのことに対し“当たり前”と思わない。人は支え合って生きていることを改めて感じる。

どれだけ今までの生活が“幸せ”だったか。

“小さな幸せを見つける。”

そして何より、妻や娘、両親を含めた家族が自分にとってどれだけ生きる支えとなり、大切で、命がけで守らなくてはいけない存在だったか改めて再確認し、夢と希望を持ち、たった一つしかない命を、たった一度しかない人生を後悔せず楽しく笑顔で生きていこう。と感じながら生きてきました。

さて、宇都宮短期大学人間福祉学科幼児福祉専攻を卒業して１７年が過ぎました。

監査の為に学校を訪れた１０月末、学生ホール（食堂）の場所から誰もいない外を眺めた時、当時の先生や先輩方、同級生、そして後輩たちとの様々な思い出が甦りました。

授業のこと、学友会、レクレーションフェスティバル、学祭、サークル活動、先生方との思い出、仲間と語り合った日々のことなど。また、１７年も月日が経っているのにも関わらず私を覚えていてくれ、声を掛けて下さる事務の先生や、当時お世話になった先生方。その他、定期的に連絡をくれる友だち。この２年間家族や職場以外、ほとんど誰にも会えず、孤独だった自分にとってとても心強かったです。

いつの日かコロナが落ち着き、また仲間と

再会した時に成長した自分の姿を見せられる為の今は辛抱の時期なんだと希望を持つことが出来ました。

きっと皆さんにも友だちや先生方とのそれぞれの思い出がある事でしょう。一日一日を大切に生きる中で、時には当時の思い出の心を寄せてみて下さい。

きっと当時の思い出が皆さんの心を少しでも癒し、豊かにし、そして何より生きる力と希望になるのではないかと信じています。

最後になりますが、皆さんで必ずこのコロナ禍を乗り越えましょう。

彩音祭PHOTO

次回の彩音祭も
お楽しみに

令和2年度活動報告

	活動内容
7月	爽風ホームページ更新
10月	爽風総会案内状発送
11月	役員会/爽風総会・彩音祭援助

令和3年度活動計画

	活動内容
7月	爽風ホームページ更新
10月	爽風総会案内状発送
11月	役員会/爽風総会・彩音祭援助
R4年2月	役員会
3月	爽風だより第19号 爽風ホームページへ掲載 卒業記念祝賀会出席

令和2年度決算報告

【収入の部】

項目	予算額	決算額	比較増減	備考
1年度繰越金	10,130,358	10,130,358	0	
卒業生会費	670,000	670,000	0	人福18期26名 子ども6期41名 子ども6期生41名
卒業企画残金	50,000	0	−50,000	卒パ費用、参加費
その他	30,090	80,812	50,722	役員活動費戻り、利子等
合計	10,880,448	10,881,170	722	

【支出の部】

項目	予算額	決算額	比較増減	備考
事務費	50,000	0	−50,000	
通信費	150,000	120,034	−29,966	彩音祭案内印刷代
大学祭援助金	200,000	100,000	−100,000	彩音祭補助
学位授与式・卒パ補助	50,000	0	−50,000	学位授与式生花
同窓会活動費	100,000	90,000	−10,000	会議費・ガソリン代
同窓会カフェ	50,000	0	−50,000	
慶弔費	30,000	0	−30,000	
大学支援金	120,000	30,000	−90,000	彩音祭生花代
小計	750,000	340,034	−409,966	
次年度繰越金	10,130,448	10,541,136	410,688	
合計	10,880,448	10,881,170	722	

収入金額　10,881,170円
支出金額　340,034円
差引金額　10,541,136円

令和3年度予算

【収入の部】

項目	決算額	予算額	比較増減	備考
2年度繰越金	10,130,358	10,541,136	410,778	
卒業生会費	670,000	720,000	50,000	人福19期26名 子ども7期27名 食栄1期生19名
卒業企画残金	0	50,000	50,000	
その他	80,812	30,364	−50,448	役員活動費戻り、利子等
合計	10,881,170	11,341,500	460,330	

【支出の部】

項目	決算額	予算額	比較増減	備考
事務費	0	50,000	50,000	
通信費	120,034	150,000	29,966	彩音祭案内印刷代
大学祭援助金	100,000	200,000	100,000	彩音祭補助
学位授与式・卒パ補助	0	50,000	50,000	参加費・生花代等
同窓会活動費	90,000	100,000	10,000	会議費・ガソリン代
同窓会カフェ	0	50,000	50,000	
慶弔費	0	30,000	30,000	
大学支援金	30,000	120,000	90,000	彩音祭花代・ユニホーム補助
小計	340,034	750,000	409,966	
次年度繰越金	10,541,136	10,591,500	50,304	
合計	10,881,170	11,341,500	460,330	

差引金額　10,541,136円は次年度に繰り越します。
会計　石井　泰之
会計監査　粂川　昌彦

教員からメッセージ

卒業生の皆様へ

永山　一夫先生

こんにちは。卒業生の皆様には、それぞれのお立場で日々ご精励、ご活躍のことと拝察いたします。また、今春卒業された皆さんには、新たに踏み出したそれぞれの道で充実した毎日を送られていることをご祈念申し上げます。

私は令和２年４月に宇都宮共和大学子ども生活学部所属の英語教員として着任し、この４月から３年目に入りました。担当科目が英語ということで、シティライフ学部、短大でも授業を担当しており、所属の子ども生活学部では１年次でのオーラルイングリッシュⅠ・Ⅱを担当させていただいています。他学部、他学科の様子を垣間見ることが出来る反面、所属学部の全体像を未だ把握しきれていないというのが現状です。

しかしながら、実習巡回指導のお手伝いをさせていただいたり、学生の皆さんがサークル活動や学友会活動、社会貢献活動や校外発表、卒論の作成などに元気と溌溂と、そして真摯に取り組んでいる姿を見ると、充実した学生生活を謳歌しているとともに、建学の精神である「全人教育（人間形成の教育）」の現実に向けて学生の皆さんも努力・実践していることを感じ取ることが出来ます。

私の担当は英語なので、学生の皆さんが専門的に学ぶ教科ではありませんが、あらゆる分野でグローバル化が当たり前のようになった世界に漕ぎ出していく学生の皆さんに、一般教養科目として全人教育の一端を担うことができればと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

食物栄養学科卒業生の皆さんへ

渡部　誠先生

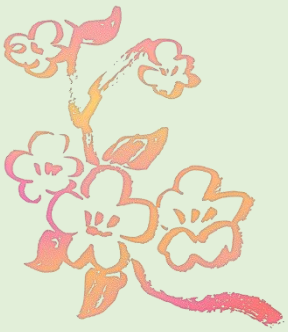
私が学生を卒業して社会に飛び込んだのは、約４０年前、２７歳の時でした。社会人になっても学生気分が抜けず、自分のことしか考えず、周りの人たちに甘えてばかりのどうしようもない私でしたが、そんな私でも何とか生き延びてこられたことを思うと、いい時代だったのだなぁと思わずにはいられません。今、皆さんが社会に踏み出そうとしているこの時代は、正直に言うと４０年前とは比べ物にならないくらい大変な時代だと思います。コロナウィルスの蔓延があり、ウクライナを取り巻く戦争の勃発があり、これら世界規模の問題の発生が私たちの日

常生活に大きな影響を及ぼしています。地震や噴火、災害のニュースも後を絶ちません。インターネットやＳＮＳでは真偽のわからない情報であふれています。本当に本当に大変な時代です。そんな中で、この２年間頑張って学び抜いて学位と資格を手にして卒業された皆さんは、それだけで素晴らしいと思うのです。自分に自信を持っていいと思うのです。まずは『よく頑張ったね！』と自分を褒めてあげてください。そして、皆さんの周りで支えてくれている人たちに『ありがとう！』と感謝してください。これから続く人生の主役は皆さん自身です。どんなに状況が厳しくても、もっともっと自分を褒め続けて、周りの人たちに感謝し続けて、生き抜いてください。素敵な皆さんの未来に祝福がありますように。

過去を積み重ねて
未来につなげる
江田　郁夫先生

ご卒業、おめでとうございます。あっという間の２年間だったことと思います。令和３年（２０２１）４月から本学に赴任し、主にキャリアデザインや歴史学などの科目を担当していた関係で、皆さんと接する機会は彩音祭などの学校行事等にほぼ限られてしまいましたが、それでもまるで「爽風」のように爽やかで心地よい印象が残っています。今後は社会の一員として実社会で活躍されるわけですが、歴史学を専門とする私からは「未来のことは分からない。しかし、われわれに過去が希望を与えてくれるはずである」（ウィンストン・チャーチル英元首相・ノーベル文学賞受賞）というメッセージをみなさんに贈りたいと思います。不透明な未来はひとまずさておき、みなさん方やご両親、ご先祖も含め、長い間にわたって積み重ねられてきた過去は確実に存在しています。そして、その過去は必ずしも順調だったわけではなく、誰しも山あり、谷ありだったはずです。それでも何とか現在までたどり着いたわけで、それを考えれば、未来にもっと夢と希望を持っていいのではないでしょうか？

ぜひ卒業した後も本学同窓会「爽風会」会員として、引き続き友人や先生方など、本学でのさまざまな出会いをこれからも大切に育んでいっていただければと思います。



爽風 NEWS

令和3年度 新任教職員

社会福祉専攻
江田　郁夫先生

食物栄養学科
松田　千鶴先生

食物栄養学科
中村　強先生

食物栄養学科
久保田　浩美先生

退職される教職員

子ども生活学部
田野邊　涼先生

食物栄養学科
上田　成子先生

食物栄養学科
渡部　誠先生

食物栄養学科
大谷津　議章先生

ベイビー誕生

長女　茉美（まみ）ちゃん
田野邊　涼先生

長女　凛（りん）ちゃん
井澤　莉佳先生

おめでとうございます！

編集後記　2年ぶりの同窓会カフェ開店でした。お写真を撮らせていただいた卒業生の皆さん、ありがとうございました！
早く日常が戻りますように。